

一気に暑さがやってきました！ そして、明日から6月。…ですね。

最近の気温の変化、気候の変わり方は、以前の日本の気候とは違って、随分と極端になってきています。日本には、古来、『四季』があり、その変化が1年間の中でゆったりと訪れ、それを私たちは肌で感じ取ることで季節の変化を楽しみつつ1年間の移り変わりを感じてきました。

しかし、今の季節の変化は単に急激であるだけでなく、「行きつ、戻りつ」で、暑くなったと思っていれば突然また、気温が前日から一気に10℃も下がったり、逆に冷え込んでいたのが、一気にうだるような暑さになったりと体がついていけないというのが本音です。

また、こういった気温の変化に起因して、昨今、日本でもこれまであまり発生を聞かなかった地域で「つむじ風」や「竜巻」といった現象が起こっています。運動会などの行事のさなかに、突然の「つむじ風」で組み立ててあったテントがいつも簡単に持ち上げられ、空に舞い上がっている光景をニュース番組等でご覧になった方も多いかと思います。風だけではなく、雨にしてもまるで集中豪雨のような雨が、極めて狭い範囲で短時間で降ることも頻繁に起こっています。これも一步間違えれば、事故にもつながるような雨の降り方です。さらにこういった雨で川の流れが一気に増えて増水した川の水が押し寄せてきた結果、それに流されて亡くなるという事故が西宮でも起こったことはまだ記憶に新しいことです。

これらはいくらスーパーコンピューターが発達しているとはいえ、予測は非常に難しいことです。こういった傾向は今後さらにすすんでいくと思われまふ。自然現象だけでなく、政治も含めて世の中の様々な事象も同様です。将来の不透明さが常につきまといまふ。そのような現実の中であっても、しっかりと自分自身を見失わず、様々な状況の変化を確実に捉え、しっかりと自分自身で判断できることがこれからの時代を担う子どもたちに最も求められていることだと思いまふ。いよいよ、来年度(平成30年度)から、新学習指導要領の先行実施が行われようとしています。小学校外国語(英語)の指導時数が増え、また、「道徳」が教科としての位置づけになります。これ以外にもプログラミング学習や、キャリア教育等々様々な視点からの改革が始まろうとしています。アプローチの仕方は様々であってもその本質の考えはひとつです。本校でも教育目標に掲げているように、豊かな心(感性)をもち、様々な人たちと協働しつつ、自分自身の目標を自分で考え創り出していくことができることであると思いまふ。

そのためには、学校と家庭、地域が同じ目標に向かってお互いの力を補いあいながら、子どもたちを見守り、育てていくことが最も大切です。どうか、これからも、よろしくお願いまふします。

☆☆☆AAE活動犬として、「レイくん」が初めて登校しました！



今日、5月31日(水)、レイ君がはじめて登校しました。朝、私がレイ君と出勤したときに、以前朝会で、子どもたちに説明したように、校長室のドアの横に『今日はレイ君、登校しています。』という札を掛けておきました。

そのあと、校長室で仕事をしている(普段は校舎まわりのゴミ拾いをしたあと、登校門で登校してくる子どもたちに声をかけていますが、今日は特別です)と、登校時間になって、廊下を子どもたちが通る足音とあわせてドア横の札を見て「今日は、レイ君来てる！」という興奮した様子の声が聞えてきました。

20分休憩に、永澤先生と一緒に「みどりんパーク」にレイ君を連れて行くと、さっそく1年生の子どもたちが数名、覗きにきました。自分たちの想像していた

大きさとは異なり随分大きかったようで、最初は恐る恐るでしたが、実際触れてみると、レイが「犬流に」精一杯歓迎して(つまり、尻尾をぶんぶん左右に振って)くれたので安心したようでした。そのあと、短い休み時間でしたが低学年だけでなく、他の学年の子どもたちも次々とやってきてくれました。あつと言う間に周りを子どもたちに囲まれて、レイ君は伏せてへそだしポーズでひっくり返り、来てくれた子どもたちに最大の敬意を払ってくれていました。特に何かをするわけではないのですが、このとき、学年は関係なく、一頭の犬がいることで子どもたちは実に素直な表情で心の底からの笑顔をまじえて話しがはずんでいました。こんな表情を見ることはなかなかありません。

以前にも書きましたが、動物は実にストレートに気持ちを表現し、また相手の気持ちもストレートに受け止めます。これは人間には決してできないことです。

レイ君にとっても、今日、20分休憩に出会った子どもたちとの時間はそれはそれは「楽しい」時間だったと思います。不定期ですが、また次回、来ますのでよろしくお願いまふします！To be continued (次号に続きます)

校長室で休憩しています。

